

1 単元名 球技（ソフトボール）

2 目 標

- 次の運動について、勝敗を競う楽しさや喜びを味わい、作戦や状況に応じた技能や仲間と連携した動きを高めてゲームが展開できるようにする。ベースボール型では、状況に応じたバット操作と走塁での攻撃，安定したボール操作と状況に応じた守備などによって攻防を展開すること。（技能）
- 球技に主体的に取り組むとともに、フェアなプレイを大切にしようとする事、役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとすること、合意形成に貢献しようとする事などや、健康・安全を確保することができるようにする。（態度）
- 技術などの名称や行い方，体力の高め方，課題解決の方法，競技会の仕方などを理解しチームや自己の課題に応じた運動を継続するための取り組み方を工夫できるようにする。（知識，思考・判断）

3 指導に当たって（高校2年生 男子\*名，女子\*名，計\*名）

本クラスは、男女の仲がよく友人関係が良好である。また、授業においても前向きに取り組んでいるとともに、練習方法や解決方法を話し合いながら活動することができる。運動が苦手な生徒もおり、「打つ・投げる・捕球する」といったソフトボールの基本動作ができない生徒も若干名いるが、大半の生徒は基本動作ができる。そこで本単元では、「打つ・投げる・捕球する」の基本動作をより確実に身につけさせるとともに、ルールに合わせた試合運営ができるように導いていきたい。

4 単元及び学習活動に即した評価規準

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
単元の評価規準	<ul style="list-style-type: none"> <li>●球技の学習に主体的に取り組もうとしている。</li> <li>●フェアなプレイを大切にしようとしている。</li> <li>●役割を積極的に引き受け自己の責任を果たそうとしている。</li> <li>●作戦などについて話し合いに貢献しようとしている。</li> <li>●互いに助け合おうとしている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●これまでの学習を踏まえて、チームが目指す目標に応じたチームや自己の課題を設定している。</li> <li>●チームや仲間の技術的な課題や有効な練習方法の選択について指摘している。</li> <li>●健康や安全を確保するために、体調に応じて適切な練習方法を選んでいる。</li> <li>●球技を生涯にわたって楽しむための自己に適した関わり方を見つけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●ベースボール型では、攻防を展開するための安定したバット操作と走塁での攻撃，ボール操作と状況に応じた守備などの動きができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●技術の名称や行い方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>●球技に関連した体力の高め方について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>●課題解決の方法について、理解したことを言ったり書き出したりしている。</li> <li>●審判の方法について、学習した具体例を挙げている。</li> <li>●試合の行い方について、学習したことをあげ、実践できる。</li> </ul>

	関心・意欲・態度	思考・判断	運動の技能	知識・理解
学習活	① 道具の準備や片づけに自ら進んで行うことができている。	① タブレットを活用し自分自身の姿とできている生徒の姿を比	① 身体全体を使ってバットを振り抜くことができ	① 練習や試合における自分の課題について、適切

動に即した評価規準	<p>② 打順や守備位置などを決める際に、話合いに積極的に参加するとともに自己の責任を果たそうとしている。</p> <p>③ 苦手な生徒に対してお互いに励ましあいながら助け合おうとしている。</p> <p>④ 用具や道具を安全に活用し、フェアなプレイができています。</p>	<p>較し課題解決を図ることができる。また、苦手な生徒に対し、具体的なアドバイスをすることができる。</p> <p>② チームの試合での目標や課題を話し合うことができる。</p> <p>③ ソフトボールを生涯にわたって楽しむための自己に適した関わり方を見つけている。</p>	<p>ている。(バット操作)</p> <p>② スピードの変化にタイミングを合わせてボールをとらえることができる。(バット操作)</p> <p>③ 打球のバウンドやコースを合わせてボールを捕ることができる。(ボール操作・守備)</p> <p>④ 狙った方向へステップを踏みながら無駄のない一連の動きでボールを投げることができる。(ボール操作)</p>	<p>に評価することができる。また、チームメートにアドバイスカードを利用し、具体的な改善方法を伝えることができる。</p> <p>② 試合方法や審判の方法を理解している。</p>
-----------	---	---	---	---

5 指導と評価計画 (15時間扱い)

	学習のねらい・活動	評価計画			
		関	思	技	知
はじめ 50分×2	<p>○単元の目標, 学習の進め方と約束ごとを確認しよう。</p> <p>1 オリエンテーションを通して, 学習の進め方を知る。</p> <p>2 授業を進めるなかでの約束ごとを確認する。 ・用具を安全に活用すること。 ・用具の準備や片付けの方法の確認をする。 ・チーム分けをする。</p>	①			
なか 1 50分×5	<p>ねらい①</p> <p>○球技(ソフトボール)特有の技能を高めるとともに, ルールを理解しよう。</p> <p>1 近い距離でのキャッチボールができるようにする。 ・スポーツチャレンジの実施①(キャッチボールマスター)</p> <p>2 ボールを打つことができるようにする。</p> <p>3 正しい守備位置を理解させ, ボールを捕球することができるようにする。</p>	④		④	
				①	
		②			

	4 練習の中で、できなかった部分をチームに分かれて活動する。				
	5 視聴覚教材を用いて、試合方法審判の方法を確認する。		①		②
な か 2	ねらい② ○ボールの変化に合わせた打撃や、カバーリングなど味方の空間を埋める守備を身につけよう。			④	
50 分 × 5	1 ボールを相手の胸に強く投げることができるようにする。 ・スポーツチャレンジの実施②（キャッチボールマスター）			②	
	2 ボールのスピードにタイミングを合わせてボールを打つことができる。			③	
	3 守備時におけるボールをもたない生徒のカバーリングの方法を身につけさせる。				
	4 練習を通して、できなかった部分を各チームに分かれて話し合い、改善方法を出し合う。 ・得意な生徒が苦手な生徒にアドバイスをする。 ・タブレットを活用し、比較しながら改善方法を考える。	②			②
	5 試合を行いながら運営方法を確認する。				①
ま と め	○これまでの学習を通して身につけた技術を発揮し、試合を楽しもう。		②		
50 分 × 2	1 試合①を行う。 ・ルールを簡素化して行う。	③			
	2 試合②を行う。 ・試合①とは違った部分でルールを簡素化して行う。		③		
	3 試合③を行う。 ・正式なルールで行う。				

## 6 本時の学習

### (1) 本時のねらい（なか1の3時間目）

○ボールを捕球し、相手の胸をねらって送球することができるようにする。

### (2) 展開（5/15）

	学習内容・活動	指導上の留意点	評価の観点、方法
は じ め 10 分	1 整列・集合・健康確認及びあいさつを体育委員中心に行う。	・号令をかけ、列が整っているか確認する。 ・大きな声であいさつをし、しっかりと礼をする。	・前回の授業でスポーツチャレンジを実施。キャッチボール後に実施することを連絡してある。

	<p>2 用具の準備及び体操を行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>準備体操，ランニング，ジャンプ運動を行う。</li> </ul> <p>3 本時のねらいと評価項目を確認する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>体育委員を中心に準備体操を行う。</li> <li>ランニングの際は，男女2列縦隊で実施する。</li> <li>ジャンプ運動の際は，笛の合図にあわせて行うように助言する。</li> </ul> <p>・本時のねらいを理解できるように説明する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>1時間目でチーム構成は決まっている。</li> </ul>
な か 30 分	<p>4 2人1組になり，キャッチボールを行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>近い距離から徐々に離れていく。</li> </ul> <p>5 スポーツチャレンジ(キャッチボールマスター)の実施。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ルールに従い3グループごとに実施する。</li> </ul> <p>6 ポジションの名称を確認する。(表1参照)</p> <p>7 チームごとに分かれ，守備位置につきノックを行う。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>全員が同じ方向に向き合いキャッチボールを行う。その際、相手の胸をねらって送球することを意識させる。</li> <li>距離を離れていく際は，無理をしないように指示をする。</li> </ul> <p>◇捕球が苦手な生徒を集め，柔らかいボールを使用し，キャッチボールを行うようにする。その際，捕球する位置を伝える。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ルールを守るように助言する。</li> <li>他のグループが行っている際は，ボールがこない場所へ移動し着席する。</li> </ul> <p>◇投げるのが苦手な生徒は転がして投げることも可とすることを助言する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>全体を集合させ，ホワイトボードを活用しポジション及び名称の確認を行うとともに，リーダーを決める。その後リーダーを中心に各チームに分かれてポジションを話し合い決定する。</li> <li>決められた守備位置につき，ノックを行う。ノックを打つ人はチーム内で決めるように助言する。</li> <li>捕球後は… <ul style="list-style-type: none"> <li>② 内野→捕手</li> <li>② 外野→近くの内野手→捕手</li> </ul> </li> </ul>	<p>&lt;関心・意欲・態度④&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>説明を理解し，安全を確保しながら自主的に行動できているか。</li> </ul> <p>&lt;運動の技能④&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>決められた時間内で素早く相手へ正確に送球ができているか。</li> </ul>
ま と め 10 分	<p>8 用具の片づけを行う。</p> <p>9 集合し整理体操を行う。</p> <p>10 本時のまとめ</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>活動をもとにうまくできたこと，でき</li> </ul>	<p>&lt;運動の技能④&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>振り返りシートや</li> </ul>

	<ul style="list-style-type: none"> <li>・振り返りシートに記入する。(表2参照)</li> <li>・次回の授業の説明をする。</li> <li>・健康確認(ケガの有無など)</li> </ul> <p>11 整列, あいさつ</p>	<p>なかったこと, 次回への意気込みを振り返りシートに記入する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・次回の授業で実施しようとしていることを連絡する。</li> <li>・健康確認をするともに, 水分補給及び汗の処理をするように助言する。</li> <li>・号令をかけ, 列が整っているか確認する。</li> <li>・大きな声であいさつをし, しっかりと礼をさせる。</li> </ul>	<p>アドバイスカードに技能のポイントを記入しているか。</p>
--	--	---	----------------------------------

◇は努力を要する状況にある生徒への手立て